

「前向き子育てプログラム」 グループワーク 参加者募集



プログラムの詳細、
体験者の感想は【裏面】
にあります！

「子育てって大変・・・」
「こんな悩み、わたしだけ？」

誰もが持っている子育ての悩み・・・
ちょっとした方法や技術を学ぶことで、子どもとの関わりを
良い方向に変えることができます！

『トリプルP：前向き子育てプログラム』はオーストラリア
で開発され、世界16カ国以上で実施されている親向けの参加
体験型の学習プログラムです。

子どもの問題を親がどのようにとらえるのか、どんな関わり
をもったら子どもの問題が改善されるのか、子どもの発達がう
まく促されるのか...

それぞれの親子に合わせた方法に変えていくための考え方や
具体的なスキルを学びます。

子どもの自尊心を育み、育児を楽しく前向きにしていけるため
に、一緒に考えてみませんか？

HP：<http://www.triplep-japan.org/index.html>

- 日 程： 2010/6/24～8/19 毎週木曜日【全8回】(うち三回は電話セッション)
9:30-11:30 詳細は【裏面】をご覧ください
- 対 象： 1歳～12歳のお子さんをお持ちのお母様またはお父様
(原則、全日程に参加いただける方)
- 参 加 費： 15,000円 (託児代別途一人につき一回1000円以内がかかります。)
- テキスト代：2,500円
- 定 員： 6名 (3名に満たない場合は中止になります)
- 場 所： KIMAMA HOUSE 札幌市東区北23条東5丁目
- アクセス： 地下鉄「北24条駅」「元町駅」から徒歩約15分、
中央バス「北24条東4丁目」より徒歩3分、
美香保体育館より徒歩3分、駐車3台可
- 講 師： 越後 久美子 ほか(トリプルP認定ファシリテーター)

お申込み方法

お名前、ご住所、電話番号、e-mail、託児の有無、託児をするお子様の年齢・性別、この講座をどこ
でお知りになったか、をご記入の上、下記までお申し込みください。

E-mail: kmkechigo@gmail.com または Fax: 011-711-7005 まで【締め切り5月25日】

お問い合わせ先 090-6448-6067 (越後携帯9:00～20:00)

プログラムでは実際どんなことをするのでしょうか？

毎週 1 回、合計 8 回のプログラムで、内容は下記のとおりです。

セッション	内 容	ワーク形式	時 間
第 1 回 6/24(木)	「前向きな子育て」とはどのような子育てなのかについて学び、子どもの行動の捉え方について話し合います。	講 義 グループワーク ロールプレイ DVD鑑賞	9:30 ~ 11:30
第 2 回 7/1(木)	子どもと良好な関係をつくり、子どもの発達を促すための、10 のスキルを学びます。		
第 3 回 7/8(木)	対処が難しい子どもの行動をうまく扱えるようになるための、7つのスキルを学びます。		
第 4 回 7/15(木)	対処が難しい子どもの行動が起こりやすい場面を想定し、その行動が起こらないように備えるための計画的な活動を学びます。		
第 5 回 ~ 第 7 回	先のセッションで学んだスキルをご家庭でうまく活用できているかを話し合い、お母様ご自身が工夫しながら子育てしていけるようサポートします。	ご自宅での 電話相談	毎回 20 分 程度
第 8 回 8/19(木)	子どもの行動の好ましい変化について話し合い、プログラムで学んだスキルの復習を行います。	講 義 グループワーク 全体のまとめ	9:30 ~ 11:30

第 5 回 ~ 7 回は個別の電話相談になります。

お母さまのご都合のよい日時にファシリテーターがお電話をかけ、ご家庭での子育てについて応じます。

ひと足先にプログラムに参加されたお母様方の感想です！

~~~~~  
 魔の 2 歳児に振り回される日々で、何かを変えたくて受講してみました。子育てにテクニックがあるということ、問題の対応策など分かりやすい手順で学びました。

この受講を通して、私自身が様々な「気づき」をいただけたことが本当によかったです。(30 歳代母親)

3 人の子育てをしてきて、3 人共性格も気質も違うので、どう接していいのかわからない。上の子には通じたのに下の子には通じない等、子育てへの自信を失くしていました。でも、トリプル P の技術に従い、試みているうちに、自分たちのその時々への対応の仕方によって、おもしろいように子どもが変わってきました。

私たち親がこのような技術を知ることによって、子ども達もストレスなくスムーズに育ってくれるのではないかと思います。また、親としても迷いが少なくなりました。このトリプル P の技術・テクニックは一生の宝になったと思います。(30 歳代母親)

~~~~~